

あなたに薦める『この一冊』7月

『バッテリー』あさのあつこ[著]

教育画劇

理科教諭 村上 加寿人

高校 3年10組 担任



主人公・原田巧の中学入学を前に、祖父のいる岡山県新田市に引っ越してきた原田一家。そこで巧はキャッチャーの永倉豪と出会い、実力を認めてバッテリーを組むことになる。ピッチャーとして絶対の自信を持ち、誰に対しても強烈な我を通そうとする巧と、その才能に戸惑いながら強く魅かれていく豪。運命に導かれたかのように、最高のバッテリーとしての2人の人生が始まっていく。全6巻からなるストーリーです。

この作品は、圧倒的な才能を持ちながらも、他人との関係をうまく築くことができない原田巧と永倉豪を中心とした野球部のチームメイトとの間の人間関係を中心に描かれているもので、野球の物語ではありませんが、とても人間模様が鮮明に描かれていました。野球に興味のある生徒はもちろんですが、そうでなくても十分のめりこんで読むことができる内容になっています。

さらにSNSやICT化が進んでいくであろうこれからの世の中では、人間関係をどう築くのがより大切になってくると思います。この小説には友達や仲間との関係の築き方、チームでの成長の仕方のヒントも隠れていると思います。ぜひ、手に取って読んでみてください。

☆ 著者『あさのあつこ』豆知識 ☆

1954年生まれ。小学校講師を経て91年に「ほたる館物語」で作家デビュー。少年野球を題材にした「バッテリー」で野間児童文芸賞受賞。甲子園に魅せられた中学球児の「グラウンドの空」、夏の甲子園を描いた「晩夏のプレイボール」など。

出典:「特別な夏、刻み込んで」、『朝日新聞』, 2020. 7.27朝刊 / 茨城県, 27ページ。

灼けつく陽の下、白球を追え。 高校野球を描いた小説

・ さいとう市立さいとう高校野球部 あさのあつこ[著] 講談社



温泉巡りとぼっちゃり系女子を愛する、健全な(?)新高校1年生・勇作。少年野球時代からエースとして活躍してきたが、高校では帰宅部と決めていた。温泉三昧の日々を夢見ていた勇作に、美術教師にしてプレー経験ゼロの野球部監督が、勇作も驚くとんでもない入部条件を提示する。

・ 雲は湧き、光あふれて 須賀しのぶ[著] 集英社

超高校級スラッガーの益岡が最後の甲子園を前に腰を故障した。監督は益岡を代打で起用し、さらに補欠の俺を益岡専用の代走としてベンチ入りさせると言うのだ。そんな理由で数少ない選手枠を奪っていいのか? 益岡との関係もギクシャクする中、ついに地方大会が始まって……。



・ 偏差値70の野球部 松尾清貴[著] 小学館



順風満帆、メジャーリーガーの未来予想図に向かってきた新真之介の野球人生は、中2の夏の県大会から暗転する。甲子園常連校への野球推薦を逃した真之介は、一般入試で高校へ入学。ところが、合格したのは野球の名門ならぬ、東京大学合格者数全国1位の超進学校だった。目指すは東大? 甲子園?

★村上 加寿人(ムラカミ カスト)先生の紹介★

*担当科目・クラス

物理基礎(高校1年4組)

物理(高2年4組<理系>、3年9組~11組<理系>)

*星座 → おうし座

*趣味 → 野球、音楽鑑賞(Hilcrhyme)、漫画(ワンピース、ダイヤのエース)

*自分の中学・高校生活

野球と勉強の両立に必死でした。

*本校生の印象

マイペースな生徒が多いと思いました。

*感動した本

『バッテリー』あさのあつこ[著] 教育画劇

・ 大延長 堂場瞬一[著] 実業之日本社

公立の進学校・新潟海浜と、私立の強豪・恒正学園との夏の甲子園決勝戦は延長15回でも決着がつかず、再試合にもつれこんだ。両チームの監督は大学時代のバッテリー。中心選手はリトルリーグのチームメイト。互いの過去と戦術を知り尽くした者同士の壮絶な闘いのなか、男たちの心は大きな変化を遂げていく。



・ もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら 岩崎夏海[著] ダイヤモンド社

ある日突然、女子マネージャーになった主人公の川島みなみは、都立程久保高校の野球部を「甲子園に連れていく」と決めた。でもいったい、どうやって? 世界で一番読まれた経営学書『マネジメント』の理論を頼りに、みなみは野球部を変革して行く。



編集後記:夏の熱気の中で行うスポーツは、まさに青春そのもの! 本を読んで体を動かしたくなったあなたは、熱中症や密に気を付けながら楽しんでくださいね!